



スローガン
「幸せ
あふれる
北小」
～私も幸せみんなも幸せ～

はぴねす

第1回学校運営協議会を開催

先日、令和7年度の第1回学校運営協議会が開催されました。この協議会を設置している学校を、コミュニティ・スクール（CS）と呼んでいます。全国の小学校では、約60%がCSを導入している中、長崎県ではまだ25%ほどの導入に留まっています。そのような状況の中、北小は9年前、長崎県内でも先駆けてCSとなりました。



CSとして発足当初から続けている活動の一つに「あいさつ運動」があります。また、昨年度は地域全体で防災訓練を実施するなど、地域と一体となった様々な取り組みを進めてきました。

今回の協議会では、変化の激しい現代における学校、家庭、そして地域が抱える課題について、活発な意見交換が行われました。学校の現状を共有し、委員の皆様の熱い思いを語り合う、大変意義深い会となりました。次回は、CSとしてこれらの課題に対し、具体的にどのような取り組みを取り組んでいくかを熟議していく予定です。地域の皆様と共に、子供たちの豊かな学びと成長を支える北小であり続けたいと考えておりますので、これからもご理解とご協力をお願いいたします。

日並通学合宿

6月25日(水)～27日(金)に木場崎集会所で日並地区の通学合宿が行われました。子供たちは、ご飯の材料を買い出しやカレー作りなどの活動を楽しみました。もらい湯では、地域の温かさを感じ、大変良い経験ができたようです。本当にありがたいことです。

大村湾の海藻を育てています(海藻教室)

5月4日に大村湾ベイプロジェクトの中村様にご協力いただき、アカモクの卵を採取しました。その日から、子供たちは毎日欠かさずアカモクの世話を続けています。中村様が準備してくださった説明書や専門の道具を使い、養分となる薬品を加えたり、海水を入れ替えたりと、熱心に活動しています。6月下旬からは、長与北小学校が育てているヤツマタモクと、本校のアカモクの一部を交換し、互いの学校で育てる交流も始まりました。そして夏休みには、子供たちが大切に育てたアカモクを長崎大学水産学部に引き継ぎ、さらに大きく育てていただく予定です。



PTA主催ウォーキングイベント

昨年度まで8月中旬に行われていたPTA主催の「サマーフェスタ」は、今年度から時期と形を変え、「地域を知る、地域とつながる」をコンセプトとした新たなイベントとして実施します。(子供たちに人気があったイベントコーナーは継続の予定)

主な変更理由は以下の通りです。
・酷暑による熱中症対策のため、時期を変更します。(11月9日の予定)
・無理なく継続できる、持続可能な取組にしたいと考えています。

まずは、今年度実施してみても、皆様から様々なご意見をいただきながら、来年度以降、より良いイベントへと発展させていきたいと考えております。

なお、イベント名は現在未定です。詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

つづやき

長崎の暑い夏の風物詩といえば、精霊流し、そしてペーロンである。先日、日並地区の新ペーロン船進水式に参列させて頂いた。太鼓とドラの音が響き渡ると、私の体は自然と反応し、心が躍り出した。

私が生まれ育った香焼は、ペーロンが大変盛んな町だった。毎年お盆の4日には大会が開催され、その2ヶ月前からは海上での練習に励んでいた。私は小学5年生でペーロン(中学3年生までの部)に乗り始め、中学1年生からは本ペーロン(大人の部)と子ペーロンの両方に乗っていた。結婚して時津へ来るまでの7年間、ペーロンに乗り続けたので、あの独特のリズムと動きは、何十年経った今でも私の体に深く染みついている。

中学・高校時代には、人生の大先輩である大人の方々から本当に多くのことを学んだ。昭和時代だったので、今では考えられないような事も経験させてもらったが、その中で礼儀や縦のつながり、そして郷土を愛する心を体で覚えていったように思う。

ホームページでも少し触れたが、今回の進水式で、新船に小学生を乗せてくださったことは、本当に素晴らしいことだと感動した。私たちが子供の頃には考えられないことである。当時は新船は、座高の低い慣れな小学生が漕ぐと船縁に当たって傷がつくため、本番以外で小学生が乗ることはほとんどなかった。しかし、今回の日並地区の皆さんは、「せっかくだから子供も乗せよう」という強い思いがあったのだろう。そのご配慮に、心から感謝したい。この地域の皆さんの温かい思いが子供たちに届き、将来、この郷土の伝統が力強く受け継がれていくことを願ってやまない。